

(仮称)茅ヶ崎市 DX 人材育成方針の策定のポイント

1. 本方針策定の経緯と現状の課題

【経緯】

・人材育成基本方針策定指針の改訂

令和5年12月に、国は人材育成基本方針策定指針を改正し、人材育成等に加えて「デジタル人材の育成」に関する検討事項、留意点を記載しました。

・自治体デジタル・トランスフォーメーション推進計画の策定

令和2年12月に国が策定した「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」(以降、第4版まで改定)において、DX 推進のために自治体に取り組むべき事項を着実に実施するための1つの方策として、DX 推進体制の構築に取り組むことが望ましいとされ、デジタル人材の確保・育成だけでなく、組織的・計画的な方針の策定が求められています。

【現状の課題】

- ・デジタル人材育成に関する方針、計画がないため、計画的な育成／研修が実施できていない。
- ・知見がある、ツールを扱うことに不得手感がない職員に改革、変革に伴う作業が集中してしまっている。
- ・前項について、職員がデジタル分野についてどのようなスキル／経験を有しているか分からない。

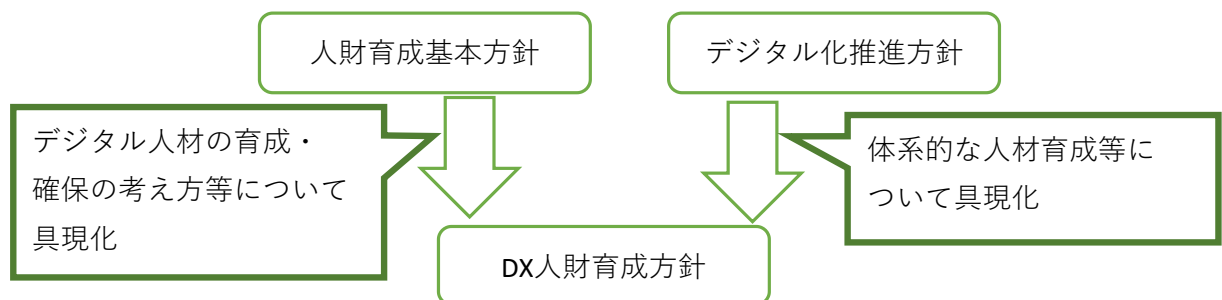
2. 方針の位置づけ

・デジタル化推進方針との関係

本方針は、デジタル化推進方針に掲げた「体系的な人材育成・研修」についての取り組みを具現化したものです。

・人材育成基本方針との関係

本方針は、人材育成基本方針を上位とする中で、DX の推進に着目し、考え方や取り組み等について具現化したものです。



3. 方針における取組内容(案)について

項番	取り組み名	主な内容
1	DX 人財の確保・獲得	国や県の制度等を活用し、助言等を受けるとともに、専門人材の採用・任用についても検討します。
2	DX 人財の育成	全ての職員を対象に、J-LIS 等が実施する外部研修の受講を促すとともに、一定のスキル・経験を有する職員には、自発的に学習を行える環境の導入を検討します。 また、(仮称)DX 人財育成プログラムを導入し、より高度なスキルや経験を習得するための環境を整備します。
3	業務改革機会の提供	プロジェクトチームの導入を積極的に行い、一定のスキル・経験を有する職員が優先的に参加し、新たなやりがいの創出と実践を通じたスキルの習得を目指します。
4	DX 伴走 PF の設置	日々の業務上の疑問や課題、アイデア等を投稿し、手軽に意見交換を行うオンラインコミュニティの仕組みを構築します。
5	DX 人財スキルの更なる見える化に向けた検討	DX 人財が持つスキルを見える化して庁内で把握し、職員がより一層成長できる仕組みとなるよう検討を行います。